

## Non-communicable Disease (NCD) の社会疫学と

### 日本の健康政策の国際的な発信

研究分担者 近藤 克則（千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授/  
国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長）

研究要旨： Non-communicable Disease (NCD) の社会疫学と日本における健康政策等について、国際発信することを目的とした。これらについての文献レビューを行い出版した書籍『近藤克則編：健康の社会的決定要因-疾患・状態別「健康格差」レビュー。日本公衆衛生協会，2013』の英語での出版を企画し，Springer 社に提案した。審査の結果，同社からの Social Determinants of Health in Non-communicable Diseases: Case Studies from Japan と題する書籍として出版することとなった。

#### A. 研究目的

世界的な人口高齢者に伴い，途上国を含め，国際的にNon-communicable Disease (NCD) に関する関心が高まっている。また健康の社会的決定要因を研究する社会疫学に関する書籍も増えている。しかし，Non-communicable Disease (NCD) に関する社会疫学的な文献レビューをまとめた形で出版された書籍はなかった。

また世界一の人口高齢化が進んだ国は日本であり日本における健康政策への関心も高まっている。日本でも，介護予防政策や健康格差対策が進められそれなりの成果をあげてきた。しかし，それらが英語で読める情報は限られている。

我々は，近藤克則編：健康の社会的決定要因-疾患・状態別「健康格差」レビュー。日本公衆衛生協会，2013を出版していたが，学術

書としては珍しく増刷されるなど，国内で好評を得ていた。これに加筆して英訳すれば，上記の背景に相応しい書籍になりうると考えた。

本研究の目的は，国際的に関心高まっているNon-communicable Disease (NCD) の社会疫学と日本における健康政策等について国際発信することである。

#### B. 研究方法

書籍の企画書を作成し，近藤克則編：健康の社会的決定要因-疾患・状態別「健康格差」レビュー。日本公衆衛生協会，2013を英訳したものを添え，Springer 社に企画提案をした。同書に，その後の最新文献を加えること，世界でもっとも高齢化が進んでいる日本における社会疫学研究や政策動向を加えることなどを英語版の編集方針として掲げた。Springer Series on Epidemiology and Public

Health の担当エディターを経由して、シリーズエディターの Dr. Wolfgang Ahren と Dr. Iris Pigeot の企画審査を受けた。

(倫理面への配慮)

この分担研究では、個人を対象としたものではないため、倫理審査申請等を行っていない。また、企業等との利益相反はない。

### C. 結果と考察

シリーズエディターの二人の企画審査を受けた結果 “the topic of the book is very interesting, therefore, they are very interested in having the book in their book series” とのことので、シリーズの 1 つとして出版することが決定した。

章構成は、以下のようにした。

- Chapter 1. The Social Determinants of Health and Trends Concerning Health Inequality
- Chapter 2. Problem Behaviors in Children
- Chapter 3. Metabolic Syndrome
- Chapter 4. Cancer
- Chapter 5. Coronary Heart Disease
- Chapter 6. Stroke
- Chapter 7. Chronic Kidney Disease
- Chapter 8. Diabetes
- Chapter 9. Suicide
- Chapter 10. Depression
- Chapter 11. Dementia
- Chapter 12. Falls and Related Bone Fractures
- Chapter 13. Malnutrition in the Elderly
- Chapter 14. Dental Diseases
- Chapter 15. Life Course Epidemiology
- Chapter 16. Social Capital and Health
- Chapter 17. Access to Healthcare and Health Inequality
- Chapter 18. Measures for Health Inequalities and Health Impact Assessment
- Chapter 19. What Measures can be Taken

against Health Inequality? – Focusing on the Actions of the WHO –

- Appendix 1. Recommendations: Assessing and Reducing Social Inequalities in Health in Japan
- Appendix 2. Monitoring Reports

巻末には、日本学術会議の提言や日本公衆衛生学会のモニタリングレポート、健康日本 21 (第 2 次) など、日本における健康の社会的決定要因や健康格差対策の学術的な動向がわかる資料や解説を加えることにした。また各章についても、日本における研究動向を加えることとした。

より多くの読者を得るために、open access できる形での出版形態とすることとした。

### D. 結論

Non-communicable Disease (NCD) の社会疫学と日本における健康政策等について国際発信することを目的とした。これらについての文献レビューを行い出版した書籍『近藤克則編：健康の社会的決定要因-疾患・状態別「健康格差」レビュー。日本公衆衛生協会，2013』の英語での出版を企画し Springer 社に提案した。審査の結果，同社からの Social Determinants of Health in Non-communicable Diseases: Case Studies from Japan と題する書籍として出版することとなった。

### E. 研究発表

(書籍：open access)

Katsunori Kondo ed.: Social Determinants of Health in Non-communicable Diseases: Case Studies from Japan. Springer Series on Epidemiology and Public Health. Springer Nature Singapore Pte Ltd. (in press)

F. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

特になし